

令和5年度
学校関係者評価委員会
報告書



学校法人 九州文化学園
九州文化学園調理師専門学校

I. 令和5年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 第1回学校関係者評価委員会

1. 日 時 令和5年8月23日(火) 15時00分～16時30分

2. 開催場所 九州文化学園調理師専門学校 1階 集団給食試食室

3. 出席者

【学校関係者評価委員】

富重 正美 様 (佐世保市食品衛生協会監事)
田中 雅弘 様 (全日本司厨士協会長崎県本部佐世保支部長)
草場 夏江 様 (西海割烹調理士紹介所 所長)
山本 久美 様 (長崎県立北松農業高等学校 生活学科主任)
平田 安喜子様 (長崎短期大学地域共生学科 製菓コース長)

【委員会事務局】

大坂 良一 (九州文化学園調理師専門学校 校長)
鴨川 多鶴子 (九州文化学園調理師専門学校 教務主任)
野口 智子 (九州文化学園調理師専門学校 教員)
當房 有紗 (九州文化学園調理師専門学校 教員)
笠原 美波 (九州文化学園調理師専門学校 教員)

4. 議事

- (1)学園沿革史 (2)本校設置目的及学校教育基本方針(教育理念)
- (3)令和5年度学校教育目標・重点努力目標
- (4)職員一覧、学生在籍数、出身校一覧 (5)学生募集
- (6)出席状況 (7)インターンシップ (8)資格取得状況
- (9)求人・就職状況・就職先 (10)令和5年度事業計画
- (11)令和5年度行事予定
- (12)質疑応答

5. 評価委員からの質問・意見

- ・高校生料理コンテストについて
- ・8月のオープンキャンパス参加者数について
- ・学生募集でのアピールポイントについて
- ・オープンキャンパスの参加者の内訳について
- ・オープンキャンパスでの説明内容について
- ・小学生料理教室について

2. 第2回学校関係者評価委員会

1. 日 時 令和6年2月5日(月) 15時30分～17時00分

2. 開催場所 九州文化学園調理師専門学校 1階 集団給食試食室

3. 出席者

【学校関係者評価委員】

富重 正美 様 (佐世保市食品衛生協会監事)
田中 雅弘 様 (全日本司厨士協会長崎県本部佐世保支部長)
草場 夏江 様 (西海割烹調理士紹介所 所長)
山本 久美 様 (長崎県立北松農業高等学校 生活学科主任)
平田 安喜子様 (長崎短期大学地域共生学科 製菓コース長)

【委員会事務局】

大坂 良一 (九州文化学園調理師専門学校 校長)
鴨川 多鶴子 (九州文化学園調理師専門学校 教務主任)
當房 有紗 (九州文化学園調理師専門学校 教員)
笠原 美波 (九州文化学園調理師専門学校 教員)

4. 議事

令和5年度報活動報告および自己評価について

- (1)教育活動 (2)学生の支援活動 (3)学生募集・広報活動
- (4)教職員の人材開発 (5)ステークホルダーとの連携強化
- (6)学園内の連携促進 (7)SDGsの推進 (8)管理運営と業務・経費効率化
- (9)施設設備システム等の環境整備 (10)点検評価
- (11)自己評価結果(学生) (12)自己評価結果(職員)
- (13)質疑応答

5. 評価委員からの質問・意見

- ・スクールカウンセラーについて
- ・離職防止策について
- ・高校生の進路決定時期について
- ・イベントでの活動の情報発信について
- ・オープンキャンパスの参加対象と開催時期について
- ・自己評価の感想

II. 学校関係者評価委員による評価および感想・助言

評価基準：4：十分達成している 3：達成している 2：あまり達成されていない 1：ほとんど達成されていない

全体体評価 3.8

1. 教育活動	評価 3.9
2. 学生の支援活動	評価 3.7
3. 学生募集・広報活動	評価 3.4
4. 教職員の人材開発	評価 3.4
5. ステークホルダーとの連携強化	評価 3.6
6. 学園内の連携促進	評価 4.0
7. SDGs の推進	評価 4.0
8. 管理運営と業務・経費効率化	評価 3.8
9. 施設設備システム等の環境整備	評価 4.0
10. 点検評価	評価 4.0

【評価委員より、全体を通しての意見・感想】

- ・限られた資源で教育活動に尽力されていると感じます。しかし現実として学生募集の結果を評価すると厳しくならざるを得ません。同窓会や司厨士会などステークホルダーの力を借りて情報発信に繋がることを期待します。
- ・就職活動が進まない学生に対し、ハローワークなど外部の力を借りることも検討してはいかがでしょうか。先生方が忙しく対応に時間が取れない場合、他の方法を実施することを考えます。
- ・8番の管理運営と業務・経費効率化について
いつまでに、どれだけの改善を行うのか目標達成状況を数値化することにより目標への進捗状況が分かりやすくなると思います。
- ・10月に実施されている高校生の体験入学は、進路を決めるきっかけとなっていることがあるようです。特に進学か就職か、どの分野に進むか定まっていない生徒には何らかの刺激を受けることもあるようです。